

エコ・ハウス

(上田クリーンセンター内)

みて!みて!きて! ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
エコ・ハウス(上田市天神3-11-31)
電話 23-5144

平成19年7月カレンダー

1	日	休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	休館日
8	日	休館日
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	休館日
15	日	休館日
16	月	休館日
17	火	布ぞうり午前10時～午後3時
18	水	
19	木	帯からバッグ午前10時～午後3時
20	金	
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	布ぞうり午前10時～午後3時
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	
31	火	子どもごみ探検隊

生ごみ3日で卵1個分(約50g)減らせますか?

上田地域広域連合が計画する統合ごみ処理施設は、現在の上田、丸子、東部の各クリーンセンターを合わせた処理能力(1日270トン)より少ない1日150トンの処理を想定しており、可燃ごみの減量が必要となりました。

上田市は、可燃ごみの約40%を占める生ごみを年間260トン減らす目標をたて、「各家庭で、3日で卵1個分の減量を呼びかけたい」としております。

上田市は、家庭で出る生ごみを減らすため、堆肥化する方やコツをまとめた「手引き」を作成し、各戸配布しました。この「生ごみ堆肥化の手引き」には、コンポスト・密閉式容器・電気式生ごみ処理機・生ごみ処理基材「ぱっくん」の4種類を紹介しております。

先ごろ、統合ごみ処理施設の建設候補地が一つに絞られました。が、あくまで候補地が決まっただけで、建設が決めたわけではなく、実際に施設ができるまでにはまだまだ時間がかかります。でも生ごみの減量は今すぐできます。「手引き」を参考にあなたも挑戦しましょう。

このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

《わくわくワーク》 ここで行うボランティアの活動をわくわくワークといいます。毎週月曜日と、木曜日10時～4時、わくわく工房にて行っています。

ボランティア随時募集しています。

修理工房よりお知らせ

庖丁とき・・・毎週水曜日 午後1時～午後3時
一人1本(無料)

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルからつくったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売しています。

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

小さなこと

ある日の、燃やせるごみの日の集積所でのことです。ある袋の中に、二つ折りにしたティッシュペーパーの箱や、丸めた包装紙が入っているのを見かけました。どうして資源ごみに出さないのでしょうか。小さな努力が積み重なってごみ減量につながっていくのではないのでしょうか？

ペットボトル、空き缶も、一手間かけてつぶしたら、かさ減りますよ。洗った後の水切りも忘れずに。

体験コーナー

空き缶のリサイクル
牛乳パックのリサイクル
少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。

わくわく講座 (参加費100円)

帯からバッグ

7/19(木) 午前10時~午後3時 (定員10名)

持ち物・・・帯、裏用布地、裁縫道具、型紙用紙、お弁当

材料費・・・芯・紐代 諸経費・・・100円

布ぞうり作り

7/17(火)、23(月)(2回コース午前10時~午後3時)(定員10名)

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。使い古した

もめんのシーツ、ゆかた、洋服を裂いて、わらじのように

編んで作ります。

持ち物・・・はさみ、ものさし(30cm位)、お弁当

材料費・・・30円 材料は各自、手持ちの布を持参して下さい。

(ゆかた、シーツ、布団カバー等ほどいて持ってきてください。)



申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 23-5144

エコ・サポート21ホームページ <http://ecosupport21.web.infoseek.co.jp/index.html>